

～多くの聴衆に支持される〈表現者〉としての
クラシック（普遍）音楽アーティストを発掘し支援する～

私は恵まれない環境で育ちましたが、有名なコンクールで良い成果を上げなければ大きな活躍をすることが難しい今のクラシック音楽業界では、私のような環境におかれた人々は、とても不利なことを痛感しました。また、そのような環境にも関わらず努力を続け、一人前の演奏家になった時には、すでにコンクール参加資格の年齢を超えていることも多々あることを知りました。

恵まれない環境で育った私が、今そのような状況におかれた演奏家の為に、出来る支援を行いたいのです。なぜなら、時代を超えて普遍的なメッセージを届けるクラシック音楽の分野において、才能溢れる演奏家は人類共通の財産だからです。

イブラ音楽財団名誉会長
ラトナ・サリ・デヴィ・スカルノ 

デヴィ夫人プロデュースだからこそー
他のコンクールではありえない表彰の数々。

- ・優勝 1名 賞金 100万円
- ・準優勝 1名 賞金 50万円
- ・ギター部門 AYAKO WATANABE PRIZE 1名 100万円
- ・イブラ・グランド・アワード特別賞 1名 賞金 30万円
- ・マチュアー賞 1名 賞金 30万円
- ・入賞 複数 賞金 5万円
- ・シチリア島 ローマ時代の 古都イブラの音楽祭典に参加可能
- ・NY カーネギーホール の イブラ・コンサートに参加可能

チャンスを掴もう！

AYAKO WATANABE PRIZE…日本のクラシックギター界で草分け的な存在である、
渡辺綾子氏の業績を称え創設されました。



芸術家は人類の財産です。

デヴィ・スカルノが贈る

The IBLA International Foundation

2022

イブラ・グランド・アワード・ジャパン

本選・グランプリ 2022年7月14日(木)～17日(日)
会場 東京オペラシティ リサイタルホール

声楽・ピアノ・ギター・弦楽器・管打楽器

5月31日(火)必着



主催 一般財団法人 アース エイド ソサエティ

助成 公益財団法人 公益推進協会 渡辺綾子基金

募 集 要 項

【審査部門】（クラシックに限る）

声楽・ピアノ・弦楽器（ハーブ可）・管楽打器・

クラシックギター（AYAKO WATANABE PRIZE）

【表彰】

・優 勝	1 名	賞金 100 万円
・AYAKO WATANABE PRIZE	1 名	賞金 100 万円
・特別賞	1 名	賞金 30 万円
・フューチャー賞	1 名	賞金 30 万円
・マチュアー賞	1 名	賞金 30 万円
・入賞	複数名	

【審査の流れ】

◇予選審査 動画による（5/31 必着）

◇本選審査 7 月 14 日：弦楽器、・ピアノ
15 日：ギタ ー、声楽
16 日：管打楽器

◇グランプリ&レセプション 7 月 17 日

東京オペラシティ リサイタルホール

【参加資格】国籍・年齢・学歴は問わない。基本はソロ演奏とする。
ピアノ部門に限っては連弾・二台ピアノ可。

【エントリー】

申し込み書に必要事項を明記の上、自身が演奏する動画を USB メモリーに収録の上、5 部同封し送付すること。メール等での提出は認めない。尚再生できない場合は失格となるので、動作確認は各自の責任で行うこと。

- ・提出されたメディアは 返却しない。
- ・録画メディアには部門・氏名を明記する。

【申し込み先】

〒150-0047 東京都渋谷区神山町 31-1

アース エイド ソサエティ

「イブラ・グランド・アワード・ジャパン」係

振り込み先：三菱 UFJ 銀行（普）0771139 目黒支店

ザイ）アース エイド ソサエティ

※振込受領証をコピーし、申込書裏面に張付すること。振込受領証をもって領収書に代える。

【予選審査発表】6 月中旬を目安にホームページ上で発表。通過者には別途連絡する。

【演奏曲目&演奏時間】

◇予選審査 任意の一曲

◇本選審査 15 分以内の自由曲（部門毎）

◇グランプリ 20 分以内の自由曲。（各部門より総合グランプリ）

※各審査毎に複数曲可。

※審査員の指示により、演奏途中でカットする場合がある。その場合、審査には影響しない。

※本選までは部門別とし、グランプリでは全部門総合評価とする。

【参加費】予選審査 1 万円（本選並びにグランプリは無料）

特記事項

動画には冒頭に、部門本選・グランプリでは冒頭や曲間に〈意気込みや将来の目標〉などを 1 分程度で自己 PR タイムを入れること。

【審査員】

審査には予選から審査員長であるデヴィ・スカルノがあたる。

各部門本選とファイナル・グランプリは米国法人イブラ音楽財団よりサルバトーレ・モルティサンティ氏他、当財団が招聘する演奏家や音楽大学教授等が審査にあたる。審査員はホームページ上にて発表する。

【主催者準備ピアニスト】

遠方からの参加等で伴奏ピアニストを準備できない場合は主催者にて準備するピアニストに依頼することができる。料金は無料だが、ピアニストの指名は主催者がする。

特記事項

- ・変更事項、訂正事項は随時ホームページにて発表する。
- ・主催者ではピアノ 2 台を準備する。その他の楽器は各自で持ち込むこと。
- ・調律は変えられない。
- ・審査に関する疑問やクレームは受け付けない。
- ・予選、本選、グランプリの演奏曲目は重複可能。
- ・曲目の前奏、後奏ならびに楽曲途中での一般的なカットについては審査に影響しない。
- ・声楽部門でオペラアリアを歌唱する際は原調のこと。一般的に認められている移調は可能。
- ・古楽器での参加も可能だが、楽器は各自で搬入すること。

- ・応募資料並びに納入後の参加費は返却できない（主催者都合による中止は返金する）。
- ・コロナウイルス蔓延に伴う政府の方針に従い、本選ならびにグランプリは無観客とする場合がある。
- ・参加に際しての交通・宿泊・食事の費用は各自負担のこと。
- ・本コンクールで行われる全ての演奏及び開会・閉会式、授賞式、コンクール終了後に行う関連演奏会に関し、出場者が有する放送権・上映権・録音権・出版権・肖像権等の諸権利は主催者に帰属する。従いてはコンクールの模様は動画サイトや次回募集要項等に使用することがある。

◆コロナウイルス感染拡大予防措置

- ・主催者は東京都の感染拡大予防マニュアルに準じて開催する。
- ・本選出場者は任意の機関で出演日から 72 時間前までに PCR 検査もしくは抗原検査を実施し、任意の陰性証明書を提出すること（検査費用は出場者負担）。
- ・審査公開の可否については世状を鑑み HP にて発表する。

【問い合わせ】

取材等▷アース エイド ソサエティ：03-3460-1000

出場者▷事務局担当者：080-6660-3387

e-mail：info@ibra-award.com



イブラ・グランド・アワード・ジャパンについて



Dr.Salvatore Moltisanti

本コンクールの母体となるイブラ音楽財団（NY）はデヴィ・スカルノ氏を名誉総裁に、イタリア人ピアニストのサルバトーレ・モルティサンティ氏によって 1990 年に設立されました。これまでイタリア・シチリア島に位置するローマ帝国時代の古都イブラにおいて 30 年に渡りコンクールを開催して参りました。

過去の実績や年齢制限、音楽大学卒業等の条件を一切問わず、今現在までの努力の成果のみを審査するコンクールとして評価されて参りました。

その日本版として「イブラ・グランド・アワード・ジャパン」はスタートを切りました。入賞者は NY カーネギーホールでのコンサート出演や、イブラでの音楽祭に日本代表として出場する機会などが与えられます。

2021 年の第 1 回では各方面より高い関心が寄せられ、503 名の応募がありました。世界中でクラシックと触れ合ってきたデヴィ・スカルノ自らが審査員長として、予選から全ての審査を行いました。その受賞者たちは今、世界に向けて羽ばたこうとしております。

第 2 回も素晴らしいアーティストがこの舞台より発掘されることを切に願っております。

申し込み用紙ダウンロード

イブラ・グランド・アワード

検索

http://ibra-award.com

